

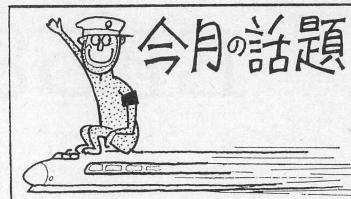
鉄道ピクトリアル

1968年2月号 Vol. 18 No. 2

<特集> EF58形

戦争の痛手から立上った直後に誕生したEF58も、EF15とともに波瀬万丈の末の成長ではあったが、形式別最多両数を生産、今日なお欠番なしに全機活動という輝やかしい記録の回顧

表紙 「昭和の名機EF58」	佐竹 保雄 撮影
カラー頁 「常磐線のニュールック」(103系新性能車)	岸 幸男 撮影
グラフ	
<EF58形特集>	
EF58 6 態	佐竹保雄・高松吉太郎・川崎車輌・東芝電気・日立製作・科学朝日提供
栄光のEF58	小林庄三・白井良和・綿貫正二・日立製作 提供
お召用電気機関車の変遷	原勝司・国有鉄道 提供
EF58の記録(1952~1957)	伊藤昭・中川浩一・佐竹保雄・茨木久雄
EF58の記録(1958~1962)	伊藤昭・中川浩一・佐竹保雄・茨木久雄
EF58の記録(1964~1967)	中谷一志・伊藤昭・松岡信一郎・吉田博重・白井良和
EF58の記録(1964~1967)	伊藤昭・小林庄三・綿貫正二・三神康彦
さようなら都電銀座線(1)(2)	
雨の夜明け(第12回鉄道写真コンクール佳作)	杉山 直文
雪とカナリヤ色(第12回鉄道写真コンクール佳作・解説76頁)	江尻 正
スーダンの蒸気機関車(1)(2)	高田 隆雄
欧州の第一線に活躍する機関車シリーズ(5)	
SNCB(ベルギー)電気機関車・NS(オランダ)ディーゼル機関車	峰岸 彰
南海電気鉄道(6)新形車を追って	藤井 信夫
トピックフォト (中国・九州、関西、中部・北陸、関東、北海道・東北だより)	
本文	
<EF58形特集>	
EF58形機関車の誕生回顧	矢山 康夫
流線形EF58の回顧	福崎 直治
電気機関車によるお召列車の運転	原 勝司
お召用電気機関車 EF58	田中 隆三
EF58の車歴と故障	杉田 肇
EF58形電気機関車使用の思い出	武井 以夫
EF58形電気機関車の修繕回顧	木村 敬
今月の話題・常磐線に103系新性能車	編集部
東京都電1系統最後電車に乗る	浜田 綱生
スーダンの蒸気機関車	高田 隆雄
本誌募集論文『路面電車をどうするか』	
推選作選評	傍土 三郎・飯塚 宏
書評・新日本鉄道史を読んで	宮本 政幸・島崎 英一・成田松次郎
鉄道事始めなし [15] 模型火室投炭のはじめ	浦川 耿介
欧州の第一線級機関車(5)	
NSディーゼル機関車・SNCB 電気機関車	峰岸 彰
私鉄車両めぐり [73] 南海電気鉄道(終)	藤井 信夫・吉川 寛
鉄道の話題	
第13回鉄道写真コンクール作品募集	
42年度国鉄新製車番号表	国鉄工作局
車両の動き・12月のメモ帳	
質問に答える	
読者短信	
TTKだより・後部車から	



カット 土屋 昭雄 画

常磐線に103系新性能車

国電常磐線に、12月13日から待望の新性能103系電車がデビュした。103系は42年度の本予算追加として110両の新製がきまり、最近ところに混雑度もはげしく、さりとて当面編成両数をふやすことのできない常磐線に投入して、東京乗込の国鉄として一番遅れていたサービスの改善をはかることとなった。

この電車が従来の103系と異なる点は、常磐線独特の列車無線装置を取付けたこと、メンテナンスフリーのために通勤車では初めてのディスクブレーキを採用したこと、車体外部色を山手線のウグイス色、京浜東北線のスカイブルーの中間色のエメラルドグリーンとしたことなどがあげられる。

現在100パーセント新性能化の完了しているのが山手(101系カナリヤイエロー)、103系ウグイス)・赤羽(101系カナリヤイエロー)・中央快速(101系オレンジバーミリオン)・大阪環状(101系オレンジバーミリオン)・中央線の相互乗り入れ(301系シルバー)で、京浜東北(103系スカイブルー)・中央緩行・総武(101系カナリヤイエロー)の2線区は70~80パーセント新性能化が終っている。こんどの常磐線に新103系投入で、東京の国鉄はすっかりカラフルになったといえる。

12月13日からは1日延べ8本が103化されたが、本年2月末までには110両が投入され、国線本線52パーセントに当たる147本が新性能化される。この置換によって余剰になつた旧形電車は、本年7月以降に電化される御殿場線や、房総西線用にあてられる予定。

〔表紙〕「昭和の名機EF58」
佐竹 保雄

EF5865[関] 向日町運転所

'67-12-17

ゼンザプロニカ S2 ニッコール2.8 絞り8
タイム^{1/125} エクタクロームEP

〔カラー頁〕「常磐線のニュールック」
岸 幸男
103系10連 金町付近 '67-12-24
マミヤプレス セコールF5.6 150mm
絞り8 タイム^{1/250} エクタクローム

TETSUDÔTOSHO KANKOKAI
New Kokusai Bldg. Marunouchi
3-4, Chiyodaku, Tôkyô/Japan